

村上市雨水出水浸水想定区域図 (荒川処理区：想定最大規模降雨)

※ 雨水出水浸水想定区域（水防法第14条の2第2項に基づく内水浸水想定区域）

水防法第14条の2第2項に規定される、想定最大規模降雨により公共下水道等の排水施設の排水能力を上回り公共下水道等の排水施設に雨水を排除できなくなった場合又は放流先の河川の水位上昇等に伴い公共下水道等の排水施設から河川等に雨水を排除できなくなった場合に浸水が想定される区域。

凡 例

浸水した場合に想定される水深

- － 0.3m未満
- 0.3－0.5m未満
- 0.5－1.0m未満
- 1.0－3.0m未満
- 3.0－5.0m未満

公共下水道等の排水区域

1. 説明文

- この図は、想定最大規模降雨による浸水が想定される範囲やその深さを表したものです。この図で色がついていない場所は、計算上では浸水しない場所です。しかし、雨の降り方によってはこの図に示されていない場所でも浸水する可能性があり、浸水深も深くなる場合がありますので注意して下さい。
- この内水浸水想定区域等は、指定時点の村上市（荒川地域）の下水道等の整備状況を勘案して、想定し得る最大規模の降雨（1時間降水量130mm）に伴う雨水出水により内水氾濫が発生した場合に想定される浸水の状況を、シミュレーションにより求めたものです。
- このシミュレーションの実施にあたっては、シミュレーションの前提となる降雨を超える規模の降雨、津波、高潮、洪水（河川の破壊または越水）による氾濫等を考慮していませんので、この浸水想定区域に指定されていない区域においても浸水が発生する場合や、想定される水深・浸水継続時間が実際と異なる場合があります。
- このシミュレーションは、想定最大規模降雨による浸水を想定するため、排水先の河川の水位を想定される最高水位に設定しています。
- 水害時において避難や水防活動を開始するタイミングは、お住いの状況等により異なることから、自らの判断で適切に行動してください。

2. 基本事項等

- 作成主体：村上市
- 指定年月日：令和7年10月1日
- 指定の根拠法令：水防法（昭和24年法律第193号）第14条の2第2項
- 指定の前提となる降雨：流域全体に24時間総雨量160mm、ピーク時の1時間に130mmの降雨がある場合
- 浸水想定手法：浸水シミュレーション手法
降雨損失・表面流出・管内水理・氾濫解析を一連で実施
地形情報を活用（下水道等の現況排水能力以上は全て溢れ、区域内の低平地に全量湛水するものとした）
- 境界条件：烏川、春木山大沢川は最高水位（堤防高）
- その他計算条件等：対象区域を5mのメッシュに分割し、メッシュごとの浸水深を計算
- 浸水継続時間
想定し得る最大規模の降雨により、長時間（概ね24時間以上）にわたり浸水（0.5m以上）するおそれがある場合、水防法施行規則第5条第3項に基づき、浸水継続時間を明記する必要がありますが、シミュレーションの結果、村上市では長時間にわたる浸水が見られないため、浸水継続時間を表示していません。

0 0.25 0.5 1 1.5 2 km

1：10,000（A1）